

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.50

インドネシア共和国



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のアダム・ラビエールさんとジェニファー・ステントンさんです。

Hello! アダムです。バリ島はその美しい景観、豊かな文化、暖かい気候、海などにより世界中に知られています。バリ島はサーフィンをするには地球上で最もふさわしい場所のひとつでもあります。そんなインドネシア共和国の小さな島、バリ島を今回紹介します。



バリ島

幅が約150kmで、北から南までが約112km。東部のほとんどは、標高約3,200mのアグン山に占められています。山々の姿、ジャングル、段々畑のような地形、豊富に存在する

ビーチ…美しいバリ島には、年間を通して多くの旅行者を惹き付けるさまざまな景色が存在しています。夏にはプロサーファーたちが、島を取り囲む岩礁にその季節の海流が衝突することによって発生する巨大な波でサーフィンを楽しむためにバリ島にやってきます。冬でも波の状態は良好ですが、旅行者のほとんどは自分たちの国が寒くて雪が降っている間に、バリ島のその暖かさや熱帯の気候を享受するためにやってきます。1年をとって温暖であるその素晴らしい気候のために、この島は12月から1月にかけて、日本人にとっても人気がある旅行先なのです。



アジア大陸

から最初にバリ島に人々がやってきたのは、約3,000年前のことでした。バリ島でつくられた文化は、現在では非常に独創的な生活のスタイルとなっています。観光業はバリ島の最大の経済産業ですが、最も労働者数が多い産業は今なお農業で、主要作物は米です。バリ島は芸術、音楽、ダンスが数多く



存在しますが、そのどれもがほかの多くの文化から影響を受けていながらほかのどこにもない独特なものとして、この島に存在しています。

バリ島の最近の歴史

を見てみると、第二次世界大戦中、日本軍がバリ島を占領していたという事実があります。この占領があつたにもかかわらず、地元住民たちは彼ら特有の文化や歴史、芸術、言語を失うことはありませんでした。16世紀、ヨーロッパ諸国がアジアへ進出。

1619年にオランダがジャカルタを征服したことから本格的な植民地時代が始まり、1906年、バリ島はオランダの植民地として支配されるようになりました。1945年



の終戦によってその占領が終結をむかえた後に、オランダ軍に代わり日本軍がバリ島を支配することになりましたが、すぐにオランダ人がバリ島や周辺のインドネシア領地にやってきて、周辺の地域の復権を大戦前の状態にと訴えたのです。地元住民の多くの紛争を経て、オランダはインドネシアの独立を承認。インドネシアの地域に及んでいたオランダの法律も適用を終えることとなり、あとは、地元住民によって守られた美しい島々が残りました。

2002年、2005年

とバリ島は2度にわたりテロの被害に遭いました。2002年のテロでは、イスラムの闘争グループが観光客の群に紛れ、3度の爆発を決行。これにより202人が死亡し、また、2005年のテロでは20人が死亡しました。この影響は大きく、バリ島の観光業はテロ発生以前の状態まで復興するのは困難でしょう。

